

Ⅰ 学校教育目標



みんなでつくる 笑顔いっぱい 元気いっぱい やる気いっぱい香焼小学校

めざす学校像	めざす児童像	めざす教職員像
子ども・教職員・保護者・地域の方が大好きな学校	よく学び・あたたかい心と最後までやりぬく力をもった児童	目標へ向かって連携・協働・研鑽する教職員

2 本校の学力向上のための視点

今年度の全国学力調査と長崎県・市の学力調査の分析結果を受け、国語・算数において、課題とする領域(★)を重点指導項目とし、それぞれの教科を国・県・市平均値以上まで押し上げることを目標とする。

★学力調査の課題	〈国語〉	〈算数〉
○基礎基本の定着を図る。 ○「書くこと」への自信をつける。 ○スマイル日記等による生活習慣の改善を図る。	・目的や意図に応じて、文章構成し、自分の思いや考えが伝わるように書き、分類したり関係づけたりして伝え合おうとする力を育成する。	・図や数直線などを用いて表し、筋道を立てて考え、根拠を明確にして説明を書き、数学的な見方・考え方を広げるための対話的な活動の実践をする。

3 学力向上のイメージ

個別最適な学びの実現

1 授業開発(ユニバーサルデザインの視点で授業を開発し、実践する)

2 ICTの活用(クロムブック、AIドリルの活用)

※AIドリル「キュピナ」の活用及び帯タイムの充実を図る。

★ 具体的な取組

確かな学力の定着〈香焼通の作成と活用〉

① 特別支援教育の充実

○児童の実態を適切に把握し、個に応じた指導・支援。

② 主体的・対話的で深い学びの実践

○学習意欲が高まり持続できる「めあて」を設定し、児童が納得できる「まとめ」を行う。

○発達段階や教科・単元・場面に応じた「振り返り」を行う。

○児童・教科の実態に応じた授業構成を工夫する。

○音読の徹底と書く活動を適切に取り入れる。

○辞書を使うなど語彙力を増やす。

③ 基礎基本の定着と活用力の向上

○既習事項の反復練習や活用問題に取り組ませる。

○帯タイムの複数人での指導体制による個別指導の充実。

④ 読書指導の充実

○本を借りる習慣と発達段階に応じた選書。

⑤ 家庭学習の習慣化

○個に応じた課題への取組

○「自立的な学習」につながる「自主学習」への取組。

⑥ ICTの有効活用

○Chromebookを効果的に活用。(AIドリルの活用)

○情報モラル教育の充実

⑦ 道徳科指導の充実

○「考え議論する道徳」を踏まえた教材・指導法の工夫。

